

台風15号直撃 続いた19号被害 そして多古町は

台風15号の強烈な暴風雨により、山々の木々や電柱はなぎ倒され、家屋など建物への被害を数多く発生させ、それまで平穏だった生活を一変させました。これまでに経験したことのない長期間にわたった停電・断水。そして、この傷跡に加えて被害を与えた台風19号。しかし、多くの皆様からの支援により、力強い一歩を踏み出し、多古町は復興への道のりを進んでいます。

私たちは台風という災害に向き合い何を待たのでしょうか。自問自答、そして検証し、その答えを未来につなげなければなりません。私たちは忘れません、多くの方との絆、この経験を。



武田防災担当大臣と林衆議院議員の現地視察で自衛隊出動の要請をする所町長
-9月12日-

町民の皆様へ

このたびの台風15号および19号により、被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

台風15号では、停電や断水が長期間に及び不安な生活を強いられている中で、町民の皆様のご協力、消防団、自衛隊、ボランティアなどの皆様から早々に心強い多くのご支援とご厚情を賜り心から感謝、御礼申し上げます。

台風19号による影響もあり難局が続きましたが、町と皆様が一体となり、災害に負けない強い団結力をもった多古町を目指し頑張りましょう。

多古町長 所 一重

地域を守る消防団

地域の安心・安全を守る為にさまざまな活動で復旧に大きく貢献した多古町消防団。自ら被災しながらも停電中の交差点の交通整理や夜警での町内の見回り、土のう作り、災害ボランティアの応援など消防団の活動は多岐にわたりました。ここでは、消防団の災害時の活動について熊澤団長に話を伺いました。

《消防団による主な災害対応》

■交差点の交通整理



停電が続くなか、朝から晩まで交通整理にあたった消防団員(赤池交差点)

■土のう作り



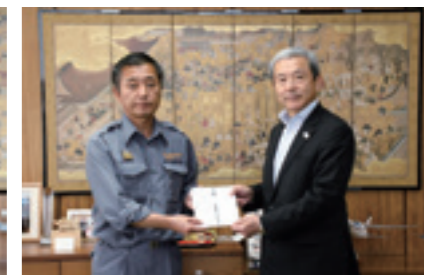
ボランティアの方や町職員と共に土のうを作る様子

■給水の手伝い



給水車から配給の水を運ぶ様子

多くの温かいご支援ありがとうございます



成田国際空港株式会社様より
田村社長様からの贈呈



日本航空株式会社様より
藤田副社長様からの贈呈



男志會様より
九重親方様からの贈呈



青森県田子町様より
山本町長様からの贈呈

台風15号での災害支援金は10月18日現在7,801,700円と、多くの皆様からご支援がありました。ご紹介しきれない、ご支援いただいた皆様に心より御礼申し上げます。なお、災害支援金は復旧のため、有効に活用させていただきます。

台風規模、被害状況

【規模】

- ◇台風15号
最大瞬間風速 37.5m/s
最大1時間降水量 32.5mm
 - ◇台風19号
最大瞬間風速 29.3m/s
最大1時間降水量 12.0mm
- ※参考：横芝光観測所

【被害状況】(10月1日現在)

- ◇台風15号
 - 人的被害：なし
 - 住宅被害：1,462件
※各区長からの報告によるもの
 - 農業被害
 - ・農業用ハウス：906a
 - ・畜舎など：26件
 - ・農作物：89ha
 - 道路・土砂崩落等被害
 - ・町道等：132路線
 - ・路肩法面崩落・ガードレール等破損：25か所

■独居老人のお宅訪問



お宅に水を届ける消防団員

多古町消防団

団長 熊澤 信宏さん



団員の皆さんには、まずは地元地区から復旧作業に入っていたいただき、土のう作りや給水の手伝い、夜警など状況を把握しながら指示を出しました。ボランティアセンターが開設され活動していく中で、被害を受けたビニールハウスの解体の要望が多い事を知り、困っている人たちを少しでも応援したいと思ひ団員に参加を呼びかけたところ、休日にもかかわらず80名以上が参加しました。

■災害ボランティア活動



ビニールハウスを解体する消防団の皆さん

また、独居老人を中心にお宅を訪問しました。暑い日が続いているなか、命に関わる重要なことでしたので、水や食糧があるか各班で回って確認するよう指示を出しました。後からですが、「来てくれて安心した。ほっとした」と、ありがたいお言葉をいただきました。

今回の甚大な被害が起きた中で活動してきたことを糧に、次につなげられるよう反省したいと思ひます。できたこと、できなかったこと、どういふことが足りなかったのかをしっかりと話し合い、次の災害が起きた時に活かせるよう、笑顔で前に進んでいきます。

団員の皆さんも被災して自宅の片付けなどで苦労されたと思ひます。その中で活動に参加いただき、本当に感謝しています。皆さん、最高です。